

あるいて比也野

比也野里まちづくり委員会 広報部発行

北播大会優勝

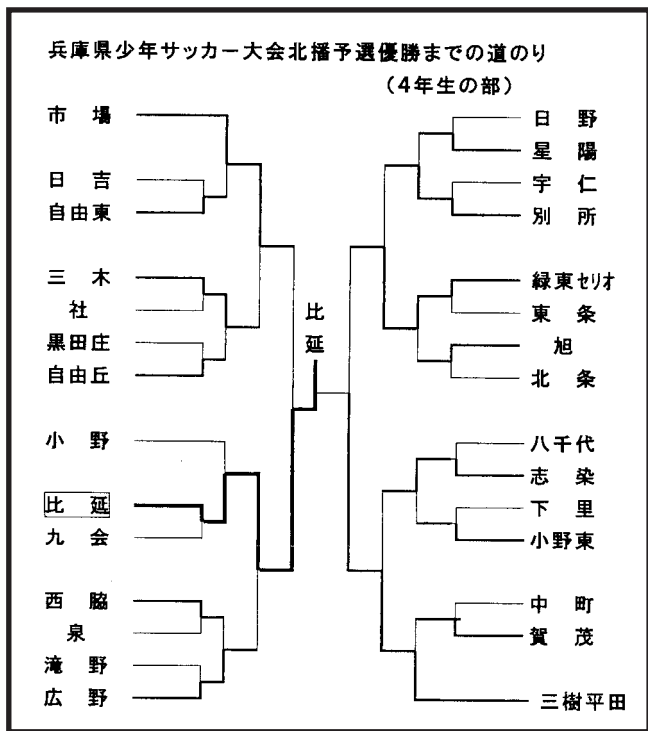
比延フットボールクラブ(4年生)

平成八年に産声をあげた比延フットボールクラブでは、比延小、双葉小合わせて四十三人の子も達が毎週元気にサッカーボールを追っかけています。

今回、四年生チームが激戦区(四十二チーム)の北播大会において優勝という快挙を成し遂げて第三十四回兵庫県少年サッカー大会に出場いたしました。



わずか結成五年目で県大会出場を成し遂げたことは比延っ子の力強さとチームワークの賜物だと指導者一同大変感激しています。
今、比延フットボールクラブは燃えています。
元気な比延っ子達、一緒にボールを蹴りませんか。
サッカー好きな子集まれ
(男女を問わず)



練習日 毎週土曜日
(第一、三、五は午後二時)
(第二、四 は午前九時)
練習場所
城山グラウンド又は
比延小学校
年会費 八、〇〇〇円
(スポーツ傷害保険及びサッカー協会登録費等に充当)
体験入部歓迎します
やってみたい子はとりあえずグラウンドまで!
問い合わせ先
山上彰志郎 二二・七〇九〇

比也野里日程

- 一月 八日 始業式
- 一月 九日 鹿野町戎祭
- 一月 二十六日 音楽会(比小幼)
- 二月 二十九日 こころみスキー(双小)
- 二月 二日 リレー大会(比小)
- 二月 三・四日 スキー教室(東中)
- 二月 八日 スキー教室(比小)
- 二月 十日 学芸会(双小幼)
- 二月 二十三日 おゆづぎ会(比保)
- 二月 二十八日 校内マラソン(双小)



スポットライト 比延地区区長会会長 小谷 啓一



区長会の事業は、ほとんど市行政密着型ですが、昨年の比延小校舎建設記念事業のように独自に大型予算を組んでやるものもあります。
目指す所は一つ、比延地区の住民の皆さんの向上発展を願う活動であります。
教育面では、保育園の運営や

お店を訪ねて 「マコトムセン」

鹿野町の「マコトムセン」のご主人は「小西池誠」さんで六十八歳、二十五歳で店を出され本名から店の名前をつけられました。現在、息子さんと仕事をされています。

鹿野町

強くなる人が多いんです」と言われました。
人とかかわりをととても大切にされているご主人のあたたかさを強く感じました。



「私は十三歳で東京の叔父の家へ行き、電気の勉強をしたんです。その時の経験が今役立っています。昭和四十九年には、倉庫が火事になり大変でした」と、苦勞話を懐かしく話されました。
ご主人は、将棋「カラオケ」「手話」と多趣味。将棋はB級で優勝された程の腕前です。「仕事中、一番楽しいことはお年寄りの方と話をすること。昔話などを聞いてみると、勉

人権・同和教育の推進に協力するなど、また福祉の面では民生児童委員さんとともに、多々努力をしております。
治安の面では、消防団の協力を得て、安心で安全な地区にと鋭意努力を心がけており、その他にも、産業廃棄物反対の運動にも尽力するなど活動はしていますが、充分とは決して申せません。
やはり地区住民皆さんの絶大なるご協力があつてこそ出来る事で、ふれあいと安心のある地域社会の構築にむけ、「協働のまちづくり」を基本理念として、その為に新たな努力を傾注したいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

スリランカ青春奮闘記

Vol.5 報告者 順子 報 働

比也の里のみなさん、あけましておめでとございます。

私は生まれて初めての暑いお正月をスリランカで迎えています。新年第一号の今回のテーマは・・・スリランカに来てびっくりした文化や習慣については前にいろいろ書きましたが、最近度肝を抜かれた「あれ」について。

十月三十日から十一月三日までテクニカルカレッジの展示会がゴールで行われました。学生の作品を展示したり、ワークシヨップを開いたりして、テクニカルカレッジのことを広く住民に知ってもらうために、全国にあるテクニカルカレッジで順番に行われています。今回は南部にある4校合同の展示会で、我が日本語クラスは・・・という、スペースがなくブースを設けることができませんでした。これまで何度かJICAブースを設けてJICAや日本の紹介を行っていたので、今回もその話をもらいました。それで、日本語クラスの学生に手伝わってもらうことにして、写真パネルの



この写真の向いている女の子が日本語クラスの学生。日本の写真を説明している。一番印象が強かったのが、この相撲の写真。次はひな祭りの写真だっただけ。

説明や折り紙のワークシヨップなどを行いました。



この展示会の会場には移動遊園地や出店がたくさん来ていました。遊園地としては観覧車や

メリーゴーランドなど。でもその観覧車が何かおかしいのです。高さは10mぐらいで、屋根のないお皿のような所にお客さんが乗っているのですが、とにかく回転が早いのです。目が回りそうなくらい。しかも回っているのは人。観覧車の中に入って移動しながら回っていました。ちょうどハムスターがかごの中で車輪のような物を走りながら回すように。名付けて「超高速人力観覧車」。途中で雨が降ってきたのですが、屋根がないのでみんなびしょ濡れ。でもとても楽しそうでした。お客さんが交代する時も一苦労で、観覧車が回らないようにロープで引っ張っておかなければなりません。観覧車と言えは、「もちろん」高くて、ながめがよくて、ゆっくり回って、個室になっていて・・・と思っていたら国によって違ふんですね。後で学生に日本の観覧車について話したら、逆にびっくりしていました。まだまだ新しい発見が続いています。今度はどんな物を目にするのやら。

歴史探訪

比延駅

前々から「比延駅について知りたい」という希望があり、鹿野町の松場豊店さん、元区長村井末雄さん、元村役場戸籍係土本周子さんに駅前談義をしてもらいました。

今から百年前に播州鉄道の計画が浮上し、大正初年に開通したものの谷川に連絡していないためシヨップシヨップと走るはずの列車が借金シャッキンと走っていると、ざれことがながれていました。

後に播但鉄道に引き継がれ谷川まで延長、比延駅が開設されることになりました。当初は津万平野を北上する予定のところ「汽車の煙で米がとれない」と反対があったとも言われています。



すが、やはり比延地域に有力な人材があり一致協力により駅が誘致されたものであることを忘れてはならないと思います。大正十三年駅舎の落成の日、鴨川の清水寺の山火事が発生し、てんやわんやの中で式が執り行われたそうです。

又、この年播州地方に大旱魃（だいかんぱつ）が襲い山の葉が枯れ、昼間に星が見えるほど空が澄みきり川は白く干しあがり、村々の経済は下落していきました。この旱魃は、以来今日までの八十年間未だ体験しない大旱魃であったようです。

そのような状態の中で、駅前に幅員七メートル延長二百四十メートルのゆつたりとした通りをつくり街路灯を完備、料理の宝生楼、旅館松の屋、六角形のしゃれた売店、製材所から運送店に産業組合等々駅前通りが発展していきました。

戦時体制に入り更に米麦はもとより郡煙草の収納所のほか、木材や林産物の積み出しから村内商工業の基点として、村の交通文化の中心的存在となっていました。

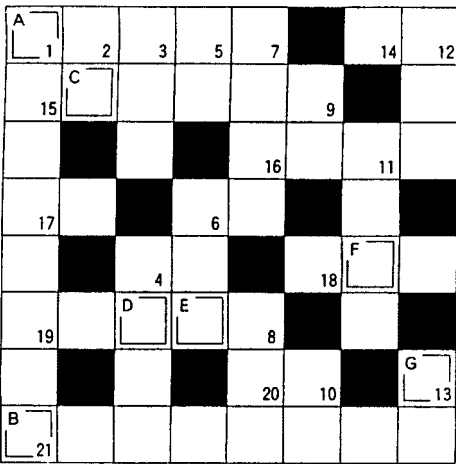
ちよつと一考

〈タテのカギ〉

- 1 ○○○○○○、忍び足
- 2 ↑軽度
- 3 ハワイに次ぐアメリカの観光地
- 4 大勢が隊列を整えて進んでいくこと
- 5 ○○は友を呼ぶ
- 6 イングリッシュ
- 7 奇跡。メイク○○○○
- 8 注意が足りず、ぼんやりしていること
- 9 桃○○○3年、柿8年
- 10 鯛
- 11 勤務先に通うこと
- 12 賞杯
- 13 ↓禍

〈ヨコのカギ〉

- 1 芝居で動物などに扮する時にかぶる衣装
- 4 カープ
- 6 S・M・○○
- 14 ↑以上
- 15 喜びと怒り、哀しみと楽しみ
- 16 ものをはさむ金具
- 17 春夏秋冬
- 18 金鉱脈が侵食され、細かく粒になった金
- 19 一カ所に集まること
- 20 魔法使いサリーちゃん
- 21 瞬間に出せる、人間の肉体的能力



■AからGまでの文字をならびかえると、ある食べ物がある...

解答の言葉と住所・氏名を書いて葉書で応募下さい。切は、1月31日。抽選で5名様に、素敵な記念品をプレゼント。送り先 西脇市野村町 西脇郵便局私書箱40号 前号クイズ正解「このはどんぶり」当選者 鹿野町 徳岡 みどりさん 鹿野町 上野 友里恵さん 比延町 勝岡 好美さん 堀町 竹内 勇人さん 堀町 松田 朝子さん 記念品をお送りします。

きました。

今、駅舎はひっそりとしていますが、往時をしのぶ桜の古木だけが、戦場に向かう軍人がレールカーの後部展望席に立ち小旗の波に送られやがて列車と共に山陰に消えて行ったあの日々の淋しい思い出を語りかけている」と結んで談義を終わりました。

赤ちゃん誕生

北田 渉(わたる)くん
二〇〇一年九月二十二日
午後一時二十六分に誕生
高嶋町 北田隆雄さん
恵さんの次男



両親から一言「兄弟仲良く元気に育つてね」と成長を楽しみにされていました。

編集後記

二〇〇一年二十一世紀の力ウントダウンのイベントをしてから早一年が過ぎようとしています。この一年は色々な事が有りました。米中枢同時多発テロ、それから国内では狂牛病と暗いニュースが多く景気も一向に良くなりません。来年は何か良くなって欲しいものです。元旦の朝には例年のように初日の出登山をして祈願をしましょう。 H